

3月定例会

豊川市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月23日から25日間にわたって開かれました。
2月28日からの2日間にわたり、代表質問では4名、一般質問では15名の議員が、市政全般について
の市の考え方や方針をたどりました。主な質問と答弁の要旨は、次のとおりです。
今回、代表質問を行った会派は、信政会、新風会、豊清会、日本共産党豊川市議団でした。

代 表 質 問

新年度施政方針と 予算案について



信 政 会

【問】①地方財政計画、国の方針、本市の財政状況をふまえた予算編成の考え②新年度の重点事業とその財源の確保③予算に伴う住民団体の意見の聴取状況④自主財源比率、経常収支比率の現状と認識について伺う。

【答】①一般会計予算では、新年度から退職者の再任用制度を活用するなどにより、一般職員数を26人減とし、人件費を抑制した。事務的経費については経常的経費のうち、一般財源について枠配分方式による財源配分を実施し、約1億円の抑制を実現した②企業立地推進、新市民病院建設、子育て支援事業などの実施のため、まちづくり交付金や旧一宮町との合併により利用できる特例債を活用する③直接事業を企画、実施する担当部

施政方針と 予算案について



新 風 会

署で年間を通し要望を吸収し、予算に生かす努力を行う④県下ランクでは現状下位にあるが、企業立地による新たな市税獲得への取り組み、新規地方債借入額の抑制等で改善を図る。

【問】市長の施政方針から、①時代の変化と社会の要請に対応しつつ、個性とにぎわいのあるまちづくりへの取り組み②小坂井町との合併問題認識③友好都市提携の考えについて伺う。

【答】①豊川街なか地区、豊川西部地区、豊川いなリズム地区、一宮地区を対象としたまちづくり交付金を、今後も積極的に活用し、防災、区画整理、道路整備事業を推進する。また、合併による均衡ある基盤整備の財源確保の手法として、合併特例債を有効活用していく②正式な編入合併の申し入れがないことや、本市の体力で耐えられるか考える必要があり、議会とも相

平成19年度施政方針 並びに予算案について



豊 清 会

談して結論を出したい③フィリピン共和国、さらには無錫市を始め中国との交流も考えていく。とりわけ、中国無錫市は、ものづくりが盛んな地域という本市との類似性、これからの発展性などから見ても、友好提携を検討すべき都市と考えており、早期の締結に向けた調査を進める。

【問】①予算大綱にある安全・安心の重点施策②財政健全化の取り組みについて伺う。

【答】①防犯対策事業では、交通安全推進協議会と安全なまちづくり推進協議会を統合し、新たに設置する安全なまちづくり推進連絡協議会への補助や防犯灯設置費、電気料補助などを計上した。防災対策事業では、公立保育所や小学校施設等の耐震補強や民間木造住宅耐震改修事業費、さらに災害対策車購入や自主防災活動推進費などを計上

②経常収支比率

税などの一般財源を、人件費や扶助費、公債費など経常的に支出する経費にどれくらい充当しているかを見ることで、財政の健全化を判断するもの。

①地方財政計画

市町村や都道府県などの地方自治体における歳入及び歳出の規模について、全体の見込みを示したもの。

した②不交付団体になり元利償還金が交付税措置されない臨時財政対策債の借入額の削減で、普通債は元利償還金が起債見込額を上回りプライマリーバランスを保っている。財政調整基金などの基金積立額を増額する取り組みを始め、歳出削減に向け、人件費の抑制、予算大綱に沿った投資的経費への重点配分を行うなど、新市民病院建設を予定する中でも、できる限り財政状況を健全化する。

平成19年度施政方針、 予算大綱について



日本共産党豊川市議団

【問】新年度予算において、①公的年金等控除額の引き下げなどによる国保料の負担増加への対策②国保の資格証明書の発行状況及び市費の繰り入れ状況と基金の推移③県企業庁の内陸用地造成の分譲状況と大木小牧地区の分譲見通しについて伺う。

【答】①昨年6月議会で国保条例を改正し、保険料算定時に18年度は13万円、19年度に7万円

の特別控除を行い、急激な負担増を緩和する②資格証明書の発行は、2月末現在で132件。市費の繰り入れは、一昨年、昨年と順に減少し、本年度予算では市単独分で、約六千五百六十万円としている。基金残高は、この2年で増加し、18年度末で約四億八千万円の予定である③新城南部ほか7地区が分譲中で、一部完了していない実態もある。今回、大木の開発地域は県道沿線で、豊川インター等へのアクセスにすぐれ、分譲価格を坪10万円以下に抑えるならば早期分譲も可能と予測する。

一般質問

新市民病院について



一問一答方式

【問】現状のスケジュールは。

【答】19年度に基本構想の策定。

20・21年度に基本設計・実施設計を予定。工事着工は、地権者との合意形成を始めた課題

解決を進める中で、見通しがつくと考えている。

【問】将来に向けて、豊川市民病院が目指すところは。

【答】高度専門医療・急性期を担う中核病院、救急医療を担う救急告示病院、災害時の医療救護活動の拠点施設、保健・医療・福祉連携の中核的役割を担う地域の基幹病院、医療技術者等の教育研修施設の五つの機能を果たす病院を考えている。

【問】市民病院の増床は。

【答】病床利用率の100%超過の状況、また、東三河北部医療圏の医療供給体制の低下により、医療圏を越えた連携の必要性の増大など、状況の変化により増床の可能性が出てきたと思っている。50から100床の増床の実現を目指して、今後も県当局と粘り強く協議を重ねていく。

今後の学校教育の推進及び 学校給食費滞納問題について



一括質問方式

【問】本市の学校教育の推進にあたり、取り組みの基本姿勢と

新年度予算の主要事業について伺う。

【答】子どもたちの生きる力をはぐくむための4つの柱として、①個性を伸ばし、調和のとれた人間形成を図る、②わかる授業の実践を心がける、③教職員の資質の向上を図る、④積極的に情報発信し、開かれた学校づくりを図ることを基本とする。また、これをふまえて、新年度主要事業として、外国人児童生徒教育推進事業、小学校英語活動推進事業、学校運営少人数指導支援事業、教員海外研修派遣事業、そして防犯メール配信システム運用等を実施していく。

【問】学校給食費滞納の現状と対応について伺う。

【答】本市の未納率は平成17年度において、調停額の0.27%で120万9千円となり、全国平均を下回る状況だが、就学援助費が大きく増えている。今後も保護者の理解と協力を求めていく。



④救急告示病院

病院の開設者からの申し出により、都道府県知事が当該地域の状況及び病院の要件等を勘案して認定・告示された病院。

③プライマリーバランス

市債などの借金を除いた歳入と、過去の借金の元利払いを除く歳出を比較するもの。歳出の方が多ければ赤字となり、将来の借金負担が経済規模に比べ増大する。黒字になれば、新たな借金は過去の借金返済に充てられるため、財政が健全であることを示す。

宝飯郡3町との合併問題及び合併が進む中での豊川宝飯衛生組合のあり方について



一問一答方式

【問】宝飯三町に対する合併のスタンスとスケジュールは。

【答】音羽町・御津町とは、それぞれ合併研究会が立ち上げられ、課題等の検討、調整を進めている。小坂井町とは、本市との合併の意思が本当にあるのか未定であり、音羽・御津両町との合併論議に加わるのは困難と考えていることから、この二町とともに合併に関する調査研究を積極的に進め、合併協議会への移行の時期を議会とともに検討、判断していく。期間の想定は難しいが、旧一宮町との合併スケジュールよりも短い期間で、合併に至れると考えている。

【問】豊川宝飯衛生組合解散についての考えは。

【答】担当部課長会議の議題に上がったことはなく、白紙の状態であるが、解散による事務の効率化や経費の削減が図れるこ

とは認識しており、今後、担当部課長会議で意見を交換しながら、衛生組合事務局へ働きかけていく。

大木町内の新産業拠点地区の開発について



一問一答方式

【問】第5次豊川市総合計画で「にぎわいのゾーン」として設定された新産業拠点区域として、大木町内の企業誘致の開発構想が発表されたがその目的は。

【答】優良企業を誘致し、安定した新規雇用と自主財源を確保することを目的とする。

【問】この地区の選定理由は。

【答】①豊川インターまで車で約10分、国道1号や23号バイパス、東三河環状線に近いという交通の利便性②土地利用や法的規制について開発に適する地域③通勤30分圏内に労働力が十分見込める可能性と地域振興という観点から選定した。

【問】地元住民や地権者へ実施した説明会の状況と、今後の開発スケジュールは。

【答】各説明会においても前向きに検討する雰囲気を感じられ、順調に進めば平成19年度以降、現地調査、事業計画策定に取り組み、開発許可のもと用地買収、実施設計、造成工事を実施し、5年以内の分譲開始を目指す。

市営住宅と住宅問題及び豊川駅東土地区画整理事業と区画整理が進む中での観光整備について



一括質問方式

【問】(1)高齢者・障害者用の福祉枠の市営住宅入居の考え方

(2)①駅東の区画整理事業を進める中での、今後の財源確保②三明公園の整備見通し③駅西を含めた、この地区の観光振興のビジョンについて伺う。

【答】(1)従来の空き家待機方式をやめ、空き家が当面5戸程度できた時点で、福祉枠を含めた公募を来年度中にはできるものと考えている(2)①徹底したコスト削減と同時に、新たに国庫補助事業であるまちづくり交付金などを確保していく②公園外周の都市計画道路三明線や区画道

路の整備が必要なため、この周辺整備が整い次第、具体的な整備計画を立てる予定である③他の観光地との連携、観光資源の発掘、人集めの仕掛けづくりのため、ハード事業では豊川駅周辺が近代的ですばらしい東の玄関口となること、また、若い人たちに「自分たちがまちをつくる」という意識醸成のソフト事業にも取り組んでいく。

県営東三河ふるさと公園について



一括質問方式

【問】一部開園して1年を迎え、好評を得ていると聞いている。そこで、①現在までの利用状況②開園以降の問題処理の状況及び今後の課題③歩行者用誘導施設の状況④必要との認識のラウンドトレインのその後の状況について伺う。

【答】①12月末までで約15万人利用があった②犬の飼い主への糞処理のマナー啓発、いたずら防止の看板設置、新たな駐輪場の設置を行った。今後は広大な

敷地の草刈りが問題であり、町内会への相談、NPO団体などへの一部費用負担も考えていきたい③12月に公園までの案内看板を国府駅に設置した。園内には距離や方向を記した各施設への案内看板も設置している。また、管理棟と公園内からの緊急通信システムの検討も行っている④県でも検討しているが、管理面、経費面、特に急勾配での安全などの問題があり、今後の課題となっている。状況に応じ、要望は行っていく。

工業用地開発、保育料見直し問題と保育の充実及び市民病院における通訳体制について



一括質問方式

【問】(1)大木町の工業用地開発の事業主体と事業の見直し(2)①保育料値上げを中止する考え②民間保育所に対する県補助金カットへの対応③正規保育士の増に対する考え(3)市民病院の通訳体制整備の考えについて伺う。

【答】(1)県企業庁にも相談中であるが、市でやるとなれば、土地開発公社でやっていくことに

なる。用地単価の目安は、坪10万円をめどとしている(2)①保育サービスの充実に努めることにより、応分の負担をお願いする②県補助金の肩代わりは不可能である。また、市の補助金も平成21年度になくしていく③正規保育士の増は、入所児童数の推移を始め、市職員全体のバランス、他市の状況などを考慮して対応したい(3)国際交流協会等と連携し、一定の方に登録いただき、必要に応じて有償で通訳を行うシステムを、今後検討したい。

学校給食、学校施設整備について



一括質問方式

【問】学校給食について、①新学校給食センター建設の進捗状況②学校給食の公会計移行③学校給食費にかかる学校側の負担軽減について伺う。

【答】①一宮共同調理場の老朽化への対応、また豊川中部共同調理場を始めとした衛生管理の向上のため、早期に施設整備計

画をまとめる②学校給食費の経理状況、決算を広く一般に情報公開し、透明性を高める必要から一般会計に計上③負担軽減策として給食費徴収台帳作成等の事務全体の電算システム化を構築すべく学校側と検討を進める。

【問】学校施設の整備について、今年度の対応について伺う。

【答】屋内運動場やプールの改修工事に加え、転倒防止のための教室、廊下の床改修、トイレの悪臭改善の対策、防火シャッターへの事故防止安全装置の取りつけを行う。また、昨年全学的に実施した教室の照度調査を元に、小中学校の個別の照明の改修計画を早急に策定する。

豊川駅東土地区画整理事業について



一問一答方式

【問】19年度末の進捗状況と今後の事業のめどは。

【答】現在の事業費ベースでの進捗率は約61%となるが、22年3月の事業期間内中の終了が困難なため、計画の変更作業で

事業期間が延長となるが、早期完了に向け努力していく。

【問】豊川牧野線の整備状況と三明線との交差点整備は。

【答】18年度から三カ年計画で、約200mを整備し、道路部分は19年度の完成を予定。151号バイパスからの誘導路としての工夫も必要であり、観光的要素を踏まえた検討を考えている。交差点部は、この地区内の重要交差点となることから、19年度事業で建物移転、道路築造工事の予定で、現在交渉中である。

【問】三明公園整備の考え方は。

【答】この地区の中心的な近隣公園と位置づけ、周辺道路整備完了後に策定する整備計画の重要要素として、三明寺の位置や歴史的資産も考え、地域の方などの意見を聞く中で進めていく。



本市の農業問題について



一括質問方式

【問】①遊休農地実態調査の結果とそれに対する対策②猿を中心とした有害鳥獣対策③東京都練馬区で好評を得ている農業体験農園の事例に対する考えについて伺う。

【答】①回答率は64・6割であり、担い手不足、高齢化、農産物価格の低迷という全国的な傾向が本市でも認められた。市として、農業経営基盤の強化に関する基本的な構想の改正や新年度に遊休農地復旧対策事業支援のための予算措置をした②地域での話し合いへの参画、電気さく設置に対する補助、追い払いのための道具の貸し出し、猟友会による駆除事業、地域住民の餌づけ防止等の啓発などで協力していく③メリット、デメリットはそれぞれあるものの、農業体験農園で農業技術の習得ができれば、多様な形で農業後継者の育成が考えられ、遊休農地

解消、多様な担い手の育成の点で研究に値するものであり、関係団体と可能性を探っていく。

「第5次総合計画」と「実施計画」並びに「マスタープラン（報告書）」について



一括質問方式

【問】総合計画実施計画にある、緊急度は高いが満足度が低いものの中で、特に、健全な財政運営では、地方債残高の増加が不満の原因と考えられる。今後、大きな負担となるであろう市民病院建設について、財政面から伺う。

【答】諏訪地区の工事費220億円、医療機器等整備費55億円をあわせた275億円を最大値として、補助金の確保を始め、経費削減等で事業費の圧縮に努めるが、増床が認められた場合には、工事費の増加が予想される。平成15年前後に竣工した病院の一床当たりの建設工事費は、約三千四百万円であるが、現在の計画段階では約二千八百万円を想定している。また、開院当初の赤字から黒字への転換には、一定の

期間が必要である。公立病院の宿命として、救急医療、高度特殊医療などの不採算部門を担う中で、常に将来を見据えた計画性のある病院運営、経営感覚を持つことに心がけていく。

合併について



一問一答方式

【問】旧一宮町が豊川市に編入合併されたが①合併の効果②今後の課題は。

【答】①規模拡大による財政基盤の強化、人件費削減など行財政運営の効率化が図られ、財政面で合併市町村補助金の獲得、合併特例債を活用したまちづくり振興基金の設置ができた②一宮地域の公園、道路、上下水道などの基盤整備に関して地域格差を是正する。その財源確保として一宮大木地区の企業立地が急務の課題となる。

【問】今後の新たな合併について本市のメリットは。

【答】合併新法のもとでの国県の財政支援は、旧法と比較して

デメリットのほうが大きく、新たな国の支援措置の情報も未確認である。国に対し財政支援を強く求めている。

【問】合併協議会設置についての予定時期は。

【答】遅くとも6月定例会で設置案を提出し、少しでも早期の協議会設置を目指したい。

一宮大木区画整理事業及び国道151号一宮バイパスについて



一問一答方式

【問】一宮大木区画整理事業の今後の課題と見通しは。

【答】増加する事業費のうち移転補償費については、区画道路の幅員、線形の見直しを検討している。雨水排水計画については、現在市が、帯川を管理する県と、放流方法、排出場所につき事前協議中で、その計画がまとまり次第、組合として調整池の規模を含め再検討を行う。

【問】本年新たに建設促進期成同盟会が設立された一宮バイパスの事業化に向けた課題と見通しは。

【答】JRの踏切廃止については生活に密着した難しい課題で、引き続き地元理解に努める。大木の工場地区での補償に要する多額の事業費について線形の見直しを検討している。接続先の上野地区における道路の基盤整備の遅れについては、地元から研究委員を選出いただき周辺の土地利用を検討する。県は豊川インター付近を第一工区に平成20年の事業着手を目指す。

障害児施策の取り組みと 新市民病院建設問題について



一括質問方式

【問】①保育園入所申請にあたり、入所可否の判定基礎となる体験保育の実施と今後の考え方②豊橋の高山学園のような知的障害児の通園施設を市内に設置する考え③現在6園ある障害児保育の実施園を、今後増やしていく考えについて伺う。

【答】①他市との体験保育期間の違いはあるので、体験保育の結果だけでなく、障害児保育実施委員会の情報を考慮し、入所の判定を行う②東三河地域の児童を入所対象とする高山学園を、当面活用していく③障害児童数の推移、保育園の入所状況等を考慮し、中学校区に1園は実施したい。

【問】新市民病院建設に係る地元対策としての説明会の実施、交通渋滞の対策について伺う。

【答】情報提供は必要だが具体的な整備方針がまとまっていない。当面は課題の解決に努力する。約千台の立体駐車場と、その敷地内に道路からの進入路整備などで、渋滞防止を考えている。

多文化共生社会について



一問一答方式

【問】市内外国籍住民の状況は、総人口の3・9割を占め、平成元年からの伸び率は、約5・7倍、南米系に限っては、20倍以上と急激な増加率となっている。

【問】生活環境における問題とそれに対する取り組みは。

【答】日本の社会制度や生活ルールの理解が必要であり、外国語版の広報、暮らしの便利帳などで情報提供の充実を図る。

【問】生活になじめない外国人の犯罪に対する認識は。

【答】将来に向けた課題ととらえ、日本人・外国人双方が安心して暮らせる、安全・安心のまちづくりを進める。

【問】企画部国際課としての将来目標は。

【答】総合計画の「外国人との相互理解が深まり、異なる文化を持つ人々が共生するまち」を目標とし、国際交流ボランティアの増員や海外都市・市内外国人との交流を促進し、積極的につき合える意識の高揚を図る。

次回の定例市議会

(平成19年第2回定例会)

◆会期日程予定

6月8日(金)	開	会	13時30分
6月13日(水)	一	般 質 問	10時
6月14日(木)	一	般 質 問	10時
6月18日(月)	中	日	13時30分
6月20日(水)	常	任 委 員 会	10時
6月21日(木)	常	任 委 員 会	10時
6月25日(月)	最	終 日	13時30分

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局 (TEL89-2150) へお問い合わせください。

市議会を傍聴しましょう

その他の質問項目

- ・市民要望の強い国府駅前広場への多目的トイレ設置の検討状況について
- ・巡回バスについて
- ・合併後の一宮地区の状況について
- ・市長の住民及び職員直接対話について
- ・姉妹都市について